

## 27

## 文化芸術の振興



## 現状と課題

- 市民が心豊かな生活を営み、活力ある社会を形成するためには、文化芸術の振興は欠くことができないものです。このような文化活動に取り組む多くの市民の活動成果を発表できる機会を、新しい生活様式に配慮しながら継続的に確保されるよう支援する必要があります。
- 文化芸術への理解を深めるために、文化芸術活動を行う市民が自主的かつ積極的に取り組むことができる機会を提供するとともに、市民が気軽に文化芸術に触れられるような場を作ることが必要です。
- 文化芸術事業への参加者は、文化芸術団体やサークルのメンバーの高齢化などにより、美術展覧会の出品数、音楽祭の出演団体数などいずれも減少傾向にあります。多くの市民、特に若い年齢層の市民が文化芸術活動に関心をもてるような取り組みを検討する必要があります。

## 主な取組

## ▶文化芸術活動の場の充実

- ① 市美術展覧会や市民音楽祭など、市民の文化芸術の活動成果の発表や鑑賞の場の提供に努めます。
- ② 市民に美術作品などの展示や鑑賞の場を提供するため、上尾市ギャラリーを運営し、施設の整備・充実を図ります。
- ③ 市民が美術展覧会などで作品を鑑賞する際の理解促進に努めます。

## ▶文化芸術活動の推進

- ① 文化芸術活動を通じて市民との協働を図ります。
- ② 地域の優れた文化芸術活動の支援を推進します。



(写真1)令和7年度上尾市民音楽



(写真2)第57回 上尾市美術展覧会

## 28

## 文化財の保護



## 現状と課題

- 文化財は地域の歴史・文化などの正しい理解のために欠くことのできないものであり、文化向上・発展の基礎になるものです。文化財保護法、県や市の文化財保護条例に基づき、調査体制の充実を図り、文化財の保護を進めていく必要があります。
- 国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」を適切に保存・管理するための施設設備及び環境を整え、多くの市民へ周知・啓発する必要があります。
- 古文書や歴史的公文書等を市民共有の知的資源として適切に保存や活用を図る必要があります。
- 無形民俗文化財は、地域の人々が日常生活の中で創造し継承してきたもので、市民の生活の推移を理解する上で欠くことができない貴重な文化財です。後継者不足が大きな課題であり、今後の継承のため、保持団体に対する支援が必要です。
- 市民をはじめ、多くの人が本市の歴史や文化などの価値を認識し、保護していく意識を育むことが必要です。

## 主な取組

## ▶文化財の調査と指定・登録及び保存

- ① 文化財の調査を行い、指定・登録を進めるとともに、指定・登録されていない文化財も含め、地域総がかりによる次世代への継承を目的とした保存用地計画の策定について検討します。
- ② 周知の埋蔵文化財包蔵地内で行われる土木工事などの際に、試掘調査や指導、必要に応じて記録・保存のための発掘調査を行います。

## ▶「上尾の摘田・畑作用具」の保存・活用

- ① 国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」について、保存環境の改善を図るとともに、文化財の重要性について情報発信をしていきます。
- ② 適切な保存と活用を図るための計画の策定について検討します。

### ▶ 歴史資料の収集・保存

- ① 市の歴史に関する資料を収集し保存を図ることで、後世へ継承します。
- ② 歴史資料の活用のため、収集した資料の整理や目録の整備を行います。
- ③ 保存年限を経過した行政文書のうち、歴史的価値のある公文書の収集・整理を行います。
- ④ 歴史資料を後世に残すため、適切な保存方法を検討します。

### ▶ 無形民俗文化財の継承と活動支援

- ① 無形民俗文化財の継承のために、保持団体等に対する支援を行うとともに記録・保存や現地公開のための支援を行います。
- ② 無形民俗文化財の後継者育成を促進するための事業を展開します。

### ▶ 文化財・歴史資料の活用

- ① 文化財保護の意識啓発のため、文化財を活用した事業を実施します。また、市民の学習活動や学校教育活動の中で、出前講座等により文化財の活用及び啓発を図ります。
- ② 市ホームページ・SNS・刊行物を活用し、文化財の魅力を発信します。



(写真1) 国指定重要有形民俗文化財  
「上尾の摘田<sup>つみた</sup>・畑作用具」



(写真2) 尾山台遺跡第4次発掘調査



(写真3) 夏休みこども考古学教室

## 目標9 文化芸術の振興と伝統文化の継承 に対する指標

※現状値は令和6(2024)年時点、目標値は令和12(2030)年時点です。

指標		文化芸術事業の満足度
指標の定義	来場者数のうち、文化芸術事業のアンケートで「大変充実している」または「充実している」と回答した人の割合。	
選定理由	市民音楽祭(合唱祭、邦楽祭、吹奏楽・器楽祭)開催時のアンケートで「上尾市の文化芸術振興事業について、どう感じますか」の項目を設け、来場者が文化芸術事業を「どのように感じたか」という満足度を測るため。	
現状値	目標値	目標値の根拠
<b>72%</b>	<b>78%</b>	来場者アンケートに記載のある課題を改善し、着実に1%ずつ満足度を増やしていくことを目指し、目標値を設定。

指標		指定・登録文化財件数
指標の定義	文化財保護法及び上尾市文化財保護条例に基づき、指定・登録された文化財の件数。	
選定理由	上尾市にとって重要な文化財を指定・登録し、計画的な修理や、適切な状況で保存・継承していくとともに、公開・活用していくため。	
現状値	目標値	目標値の根拠
<b>123件</b>	<b>124件</b>	文化財を市の指定にするにあたっては、専門家による調査を行い、上尾市の指定文化財として重要と認められるかどうかを文化財保護審議会で審議したうえで評価するため、文化財を指定するための調査・研究と資料の評価に一定の時間が必要となるが、計画年度内での増加を目指して、目標値を設定。

指標		整理・刊行された歴史資料の目録点数
指標の定義	古文書等の歴史資料について、資料の内容を素早く確認できるように整理・分類して刊行された目録の点数。	
選定理由	古文書等の歴史資料は、地域の歴史を叙述する上で必要となる基礎資料であるが、目録を作成することにより、歴史資料が広く活用されるようになるため。	
現状値	目標値	目標値の根拠
<b>26点</b>	<b>27点</b>	古文書等の目録を作成する際の流れとして、収集あるいは寄贈された資料のクリーニング、状態によっては補修を行ったうえで、専門家が文書内容を読み解きながら分類し、解題などを付して目録としてまとめて刊行する。資料群の量と質、保存状態などにより目録作成に要する時間は一様ではないため、現状の作業量を加味して目標値を設定。